



泉だより 第386号

平成26年9月1日発行

西東京市立泉小学校

<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-izumi/>

泉小のよさ、校風、伝統をかみしめた夏休み

校長 幸内 悦夫

新学期、子供たちのたくさんの笑顔が戻ってきました。日焼けして満足感のある表情に充実した夏休みだったことが分かりとても嬉しいです。

夏休み中も、子供たちは、保護者、地域の皆様に支えていただきながら、学校での活動でたくさんの素敵な姿を見せてくれました。紹介します。

7月22日の夏祭りは、育成会とふれあい委員会の皆さんが中心になって進めていただきました。住吉小学校の屋宮校長先生をはじめ住吉小の先生方もおみえになり、住吉小の子供たちは61名も参加してくれました。泉小の子供たちも161名参加し、いきいき泉さん、年輪クラブさん、お茶の先生方、保護者の方のご協力で、総勢500名の盛大なお祭りになりました。泉小の子が住吉小の子に気付き親しそうに声をかける姿もありました。ご協力いただいた皆さんに心から感謝申し上げます。

酷暑の青年会議所主催のスポーツ雪合戦では、他地区の学校の子と協力して優勝した子もいました。

8月の最終週は、ラジオ体操が行われました。年輪クラブさん、校外協力委員会が中心となり進めていただきました。天候の関係で3日間の実施となりましたが、74名の子供たちの元気な姿が見られました。早朝からありがとうございました。

水泳指導（裏面に写真があります）には、のべ1488名が参加し、平均で1日、約100名が参加しました。全校児童の約半数が毎日参加したことになります。15日間、毎日参加した子は、7名でした。毎日参加した子の保護者からは、水泳が得意ではないけれど毎日練習に通いましたとお聞きしました。保護者委員会の方は、輪番で水泳指導の登下校のパトロールをしてくださいました。お陰様で安全に登下校できました。ありがとうございました。本校がはじめての外部指導員の方は、「あいさつがしっかりできるし、言葉遣いも良いし、態度も素直でよく話を聞きますね。すばらしいです。」他の外部指導

員の方からは、「検定前に、おばあちゃんの家近くのプールで一日練習したとか、お父さんと練習したとか聞きました。意欲的です。普段もよく指示を聞いてがんばりますね。」とほめていただきました。指導者が近隣の方に迷惑がかからないようにマイクなしの肉声で指示をだすことができるのは、以前からの習慣が継続されているからだと思います。

学習教室（裏面に写真があります）は、のべ403名が参加しました。どの子も問題を一心不乱に解いていました。真剣な姿に感激しました。

学校図書館開放は、7日間実施して毎日利用がありました。完読、静読の習慣が意欲につながったように思います。

毎日の当番もよくがんばってくれました。4年生のうさぎの世話は、飼育小屋から暑さのため昇降口に避難したロングの身の回りを丁寧に清潔にしてくれました。5年生の稲の世話は、猛暑の中、自然観察園の田んぼの水を十分補充して、青々とした立派な稲に育てることができました。

合唱団の練習もありました。2時間を超える真剣な練習を重ね、澄んだ明るい声が響いていました。

漢字検定にもたくさんの子が挑戦しました。

市の統合協議会が、2回開催されました。私の方から泉小のよさ・校風・伝統を紹介しました。協議会委員の皆さんにご理解いただき、現在、住吉小では、来年度の計画の中に泉小のよさ・校風・伝統を取り入れる工夫を始めていただいております。

「泉、永遠に。」で折句のようなものをつくってみました。□つまでもずっとみまもり（見守り）
□もにつくった（共に創った）□わすれない（忘れない）□しきのれきし（錦の歴史）

今までの学校、家庭、地域のつながりの中で子供たち一人一人によき校風・伝統が息づいています。有終の美を飾るべく、二学期もご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。